

「只好」を用いる中国語原文とその日本語訳

中国語原文	日本語訳文
<p><b>挿队的故事 (原文)</b></p> <p>///于朝阳光中和鸡鸣声里相对无言想一阵,又钻回烟中去。要把煤火烧得旺盛,必须有好柴。譬如狼牙刺,有油性,烧起来火势既猛又耐久。然而这些砍来费劲。我们先跟老乡借一些,借的次数多了自觉无理,就只好偷一些,反正一样,都不还,</p>	<p><b>遙かなる大地 (訳文)</b></p> <p>///そして朝の光と鶏の鳴き声の中で向かい合ったまま無言でしばらく考えこむが、やがてまた煙の中へ入っていく。石炭をうまく燃やすにはよい薪が必要である。狼牙刺なら油分があって燃やすと火勢が強くて火もちがいいが、集めるのに骨が折れる。そこで最初のうちは村人から借りていたが、回数が増えるにつれてこれはよくないと思い、しかたなく少し盗んだが、いずれにしても返さないのだから同じことだった。</p>
<p>有一年那小庙恢复了一阵香火。那年到处传说,从黄河东过来了神神,方圆几百里内的寺庙都兴旺了一阵,庙庙的神灵都复活。人们去庙里跪拜、许愿、烧香。那时没有卖香的,只好用纸烟代替,指定要“延安牌”的,说那是神神看下的牌子,以致“延安牌”烟脱销了很久。</p>	<p>ある年その廟が一時復興したことがあった。その年各地で黄河の東から神様がやって来るという噂が流れて、数百里四方の寺廟がみな賑わいを見せ、各廟の神様が一齐に復活した。人々は廟へお参りに行き、願をかけ、線香を上げた。その頃は線香を売っていないので、しかたなく紙巻きタバコで代用したが、神様の好きな種類は「延安」印と決められていて、そのため「延安」印のタバコの品切れ状態が長いあいだ続いた。</p>
<p>///“小彬,你真不如去当兵,”仲伟说。小彬愣愣的。鹞鹰在天上盘旋。山的影子在拉长。闹肚子也不能闹到天黑去,只好又爬起来灰不塌塌往山上走。肚子咕咕叫,浑身都酸软,对日天崩的理解又深一步——老天爷不公平。</p>	<p>///“小彬、本当に軍隊に入ったほうがいいぞ”と仲偉が言ったが、小彬はぼんやりしていた。ハイタカが空を旋回している。山の影が長く伸びている。下痢だといっても夕暮れまでそうしているわけにはいかないで、しかたなくまた起き上がったって元気なく山を登る。腹がゴロゴロ鳴って全身だるく、日天■に対する認識がさらに一歩進む……天は不公平だ。</p>
<p>仲伟捡了几块好肉,放在一张干净纸上。王建军只好送去,刺溜一下跑过去,刺溜一下又跑回来。太简单了点。</p>	<p>仲偉が肉のいいところをいくつか選んできれいな紙の上に置いた。王建军は持っていかざるをえず、サッと駆けていって、サッと戻ってきた。あまりに簡単すぎた。</p>
<p>有一本心理学的书中说,少男女在互相吸引之前,会有一段互相憎恨的过程。按我的经验看,相憎绝不在相吸前,保险是在其中,那炽热的相吸一时难于表达,便只好找碴儿打几回架。</p>	<p>さる心理学の本によれば、若い男女は互いに惹かれ合う前に必ず憎み合う段階があるそうだ。私の経験によれば、憎み合うのは惹かれる前ではなく、絶対にその渦中にある時だ。熱い思いをすぐにはうまく表現できないので、やむなく難癖をつけてはげんかするのである。</p>
<p>///“靳秀芳。”“哪个是靳秀芳?那个挺漂亮的?”对了,是这个问题。“秀芳可不漂亮,”她说,望着街上往来的人流。我竟然松了口气,天!就因为她长得丑?“夏天死的,运不回来,只好埋在了村后的山坡上。”</p>	<p>「■秀芳よ」+++「■秀芳はどちらの人。きれいな人のほう?」そうだ、この問題だ。+++「■秀芳は美人じゃなかったわ」そう言いながら彼女は通りを行く人の流れを眺めていた。私は自分でも思いがけずほっとため息をついた。なんということだろう、彼女が美人でなかったからだとでも!+++「夏に死んだから遺体を移送できなくて、村の裏の山腹に埋めたわ」</p>
<p>///结果工农兵大学生现在不算数;后来真正考上大学的也没多少理,三十好几了,老婆喊孩子哭,屁股大的一间房,只好蹲到路灯底下去背书,因为工龄不够,一上大学还把工资免了;</p>	<p>///結局労働農民出身の大学生は今では大学生と認められていない。後で本当の試験で入学した大学生だっただれほど正当性があるものか。三十過ぎの年になって、女房が怒鳴るは子どもが泣くほど、額がくっつくような狭いひと間だけの部屋にいられるはずがなく、仕方なく街路灯の下へ行って本の暗記をしなくてはならない。勤続年数が足りないから大学に進学すると給料まで止められる。</p>
<p><b>关于女人 (原文)</b></p>	<p><b>女の人について (訳文)</b></p>
<p>///有一天被一位同学翻了出来,当众诵读,大家都以为我是对于隔壁女校的女生,发生了恋爱,大家哄笑。我又不便说出实话,只好涨红着脸,赶过去抢来撕掉。从此连歌也不敢写了,那年我是十五岁。</p>	<p>ある日、同級生のひとりにカパーをめくられ、大勢の前で朗読されてしまった。みんなは私が、すぐ隣の女学校の生徒に恋をしていると大笑いした。それでも本当のことをいうわけにもゆかず、顔を真っ赤にして、ひたひたで破りすてた。+++それ以来、雅歌をノートすることさえためられるようになった。私は、十五歳だった。</p>
<p>日红着脸没有回答,我也不便追问,只好算了。</p>	<p>顔を真っ赤にしては何も答えなかった。それ以上はいいにくく、私も話をうち切った。</p>
<p><b>活动变人形 (原文)</b></p>	<p><b>応報 (訳文)</b></p>
<p>“爸爸你去,爸爸你走!”倪萍厉声说,倪吾诚不敢多话,只好不放心地离开了倪萍。</p>	<p>「パパ、行って、あっちへ行って!」+++倪萍の激しい言葉に、倪吾誠はもう何もいえず、心配顔で娘の側を離れた。</p>
<p><b>金光大道 (原文)</b></p>	<p><b>輝ける道 (訳文)</b></p>
<p>歪嘴子真没想到高大泉这么坚决勇敢;见围着的人都给他喝彩,只好自找台阶,把文明棍一扔,拍着长袍大襟又喊又叫:“高大泉跟八路串气了,要造反了!我告你去!”接着,他又抖又颤地进了大院。</p>	<p>「口まがり」は高大泉がこんなにも断固として勇敢だとは思ってもよらなかった。周りの人垣からも揚矢が送られているので、「口まがり」は何とか引込みをつけようと、ステッキを振り回し、上着の前を叩いてがなった。</p>
<p>土改开始,大搞宣传活动。罗旭光组织村剧团。当时农民们的精神还没有解放,封建意识很浓厚,排戏的时候,找不到一个女角,只好由男的扮女的。</p>	<p>土地改革が始まると宣伝活動がさかんにおこなわれた。羅旭光は村の劇団を組織した。当時農民たちはまだ精神的に解放されていなくて、封建意識が強く、芝居の稽古をするのに女役のなり手がなく、男が女に扮するしかなかった。</p>
<p>///他们熬干了血,累弯了腰,手里没落下一块黄土坷拉,最后只好在官坟场挤一块六尺长三尺宽的土坑子,埋下那对旧社会含恨的尸体,埋下庄稼人对土地那种死不熄灭的强烈要求……</p>	<p>///かれらは血を滴らすほど苦勞し、腰がまがまるまで辛抱したが、土饅頭のひとかけも手に入れられず、最後には、公共墓地の長さ六尺幅三尺の穴につめられ、旧社会への憎しみをいだいた亡骸をよこたえ、死んでもやむことのない百姓の土地への執着を埋めるほかなかった……</p>
<p>那个军人模样的人从路边拾起他的背包,走到高大泉跟前,上下打量着高大泉。因为刚才的剧烈搏斗,高大泉那年轻的脸色红腾腾的;因为受到鼓舞,高大泉那两只好看的眼睛是明晃晃的。</p>	<p>軍人ふうの男は道ばたからカバンを拾うと高大泉の前にきて、ジックリとかれを見まわした。今の激しい格闘のせいで、高大泉の若々しい顔は真っ赤になっていた。元気づけられて、高大泉の澄んだ目は明るく輝いていた。</p>
<p>他本来很想把课余时间完全花在周报上面,然而他又害怕会引起祖父的干涉或者还会给大哥添一些麻烦,便只好隐瞒着他跟周报的关系。</p>	<p>彼は元來勉強の余暇を、すべてこの週報のために費そうと思ったが、しかし同時に祖父の干渉をおそれ、彼と週報との関係をはたかくしに隠さざるをえなかった。</p>
<p><b>轮椅上的梦 (原文)</b></p>	<p><b>車椅子の上の夢 (訳文)</b></p>
<p>燕宁目光坚定地注视着大家,毅然地背起了方丹,伙伴儿们只好簇拥在她身旁。</p>	<p>///燕寧が毅然とした態度で方丹を背負ったので、みな仕方なくガヤガヤと後ろからついて行った。</p>
<p>抬眼向四周寻找,没有发现一处能暂借栖身的农舍,只好倚着票房的墙角坐下去,眼睛在附近的青山上擦掠着。</p>	<p>///四方に目を凝らしてみても身を寄せる農家もないので、しかたなく雑居は鍵のかかった待合室に寄りかかってすわりこんだ。</p>
<p>晓梦又说:“方丹,你知道,我很小的时候,爸爸就去世了,妈妈非常疼爱我。可是,她总是那么忙,有时候星期天都在忙工作。那时候,一放暑假和寒假,我只好去上海姑妈家,姑妈教我学跳舞,可是妈妈却没有时间看看我跳得好不好……不过,我还是爱我妈妈,我不相信我妈妈是坏人。妈妈对我说过,她要努力党的事业工作,一直到老……”</p>	<p>「方丹も知ってるでしょ。あたしのパパは、あたしが小さいころに死んだから、ママはあたしをとても可愛がったのでも忙しくて、日曜にまで働くこともあったから、夏休みや冬休みになるといつも、あたしは上海のおばさんに預けられて……おばさんはバレエを教えてくれたけど、ママはあたしの踊りがうまいかどうかを見る時間がなかったんだ……でも、やっぱりあたしはママを愛してるよ。ママが悪いことをしたなんて信じない。ママは党の事業のために、おばさんになるまで、ずっとがんばるって言ってたもの……」</p>
<p>“拿来!俺抬十枕儿麦秸辫儿才换这一块香胰子,你不就给中了?”素英忿忿地说着,伸手就要抢,三梆子只好掏出来,塞到她手里。</p>	<p>「出しなさい!おねえちゃんが麦わらをしごいて十かせも紐にして、やっとひとつ交換した石鹸だよ。悪いとは思わないの?」素英はアブソソ怒って、つかみかかりそうにしたので三■子はあわてて石鹸を取り出し、姉の手に押しつけた。</p>
<p>荒原上的生活条件称得上艰苦恶劣。这里的碱土烧不成砖,盖不成房子,人们只好在地上挖个洞,修一个地窝子住在里边。这种地窝子既没有窗子,也没有门板。</p>	<p>ここの生活条件は劣悪と書いてよい。アルカリを多量に含んだ土ではレンガが焼けず、家を建てることができないので、しかたなく人々は地面を掘り下げ、横穴の部屋を作って住んでいる。部屋には窓がないのは無論だが、扉さえない。</p>
<p>///相亲的人家看着怎么也遮不住穷相的破土房,说什么也不愿把自己的闺女嫁过来。还是媒人出了个主意,劝小瘦子的娘找个差不多的人家换亲,这样两家不用送彩礼,还是亲上加亲。小瘦子的娘看着十四五岁的女儿,心里一阵阵难过,可是想想出走的两个儿子,又怕这家人从此断了根,左思右想,又加上媒人那张能把死人说活的嘴,只好硬着心肠答应了这门亲事。</p>	<p>///しかし、どうにも取り繕いようのない貧しいあばら家を見せられては、うんという家族はいない。結局、仲人は同じくらい貧しい家族と交換結婚をするようすすめた。それなら結婚もいらぬし、家同士のつながりも強くなるよ……秋雲の母は、まだやっとならぬ娘を見て辛くてたまらぬ気持ちになったが、出て行った二人の息子を思い、家系がとだえることを恐れた。あげく死人も活かして見せるような仲人も加わり、とうとう母親は心を鬼にして、この縁組みに同意した。</p>
<p><b>呐喊 (原文)</b></p>	<p><b>呐喊 (訳文)</b></p>
<p>孔乙己自己知道不能和他们谈话,便只好向孩子说话。</p>	<p>孔乙己のほうでも、この連中では話相手にならぬと知って、子どもに話しかけることになる。</p>

中国語原文	日本語訳文
///生拍注音字母还未通行，只好用了“洋字”，	///おそらく、注音字母(一種の発音記号)はまだ普及しそうもないから、ここは西洋の文字を使うほかはない。
阿Q忍不下去了，他只好到老主顾的家里去探问，	阿Qは辛抱できなくなって、やむなくお顧客の家へ注文とりに回った
其次便是一同去放牛，但或者因为高等动物的缘故罢，黄牛水牛都欺生，敢于欺侮我，因此我也总不敢走近身，只好远远地跟着，站着。	その次には、いっしょに牛を放牧に行くことだ。だが牛は高等動物のせい、胎牛でも水牛でも、慣れぬ人間とみるとなめてかかり、よく私をバカにした。それで私もそばに近寄るわけにはいかず、ただ遠くから付いて行き、離れて立っていた。
<b>彷徨 (原文)</b>	<b>彷徨 (訳文)</b>
她真是走投无路了，只好来求老主人。	どこに行くつたって、行くあてがないものですから、こうしてむかしのご主人を頼って参ったわけです。
///但是瞒着，怕他因此要担心，有一夜，她的伯伯长庚又来硬借钱，——这是常有的事，——她不给，长庚就冷笑着说：你不要骄气，你的男人比我还不如！她从此就发了愁，又怕羞，不好问，只好哭。	///でも、父親に心配をかけまいとして、隠していたんですね。ある晩のこと、あの娘の伯父の長庚がまた金をせびりにきて——これは毎度のことなんです——あの娘が渡さなかったところが、長庚がせせら笑って、フン、いばるらない、おめえの亭主はおれよりもっとひでえぞ、って嫌がらせをいったんですね。それから、あの娘はすっかり沈んでしまって、それに恥ずかしさもあって口に出してきくわけにもいかず、ただもう泣くばかりだったそうです。
敲钉的声音一响，哭声也同时迸出来。这哭声使我不能听完，只好退到院子里；	釘をうちつける音がすると、同時にまた泣き声がワッとあがった。この泣き声を、私は最後まできくのが辛くて、やむなく中庭へ逃がれた。
<b>青春之歌 (原文)</b>	<b>青春の歌 (訳文)</b>
///母亲没办法，只好依了她。	///母親はしかたなしに、かの女の好きなようにさせるよりほかなかった。
余永泽知道她的脾气，只好愁闷地点点头，不再说下去。	余永沢は、かの女の気性を知っているの、憂うつそうにうなずくだけで、それ以上反対しようとはしなかった。
“不啦，不啦！……”老头一边拙笨地谦让着，一边早接烧饼大口吃起来。余永泽走进了用幔帐隔开的里屋去，外面道静只好一个人陪着老头。	「と、とんでもねえです……」+++じいさんはもじもじと遠慮しながらも、その手はす早く餅子をとって、ががつとたべだしていた。余永沢が、カーテンで仕切った中の部屋に、はいりこんでしまったので、道静はしかたなく、ひとりて老人の相手をした。
道静走在红楼后面的大操场上。她在人群中找许宁，找卢嘉川，找罗大方，但是谁也没找见。看看没有一个认识的人，她只好站在一堆人群的外面，心里兴奋，可又有点儿懊恼。渐渐，人越来越多，看看总有三四百人了，只是她还是孤零零地站在人群的后面。突然，此起彼伏地响起了雄壮、嘹亮的口号声，这声音使她蓦地兴奋、欢快起来。	道静は、红楼のうしろの、大運動場を歩いていた。かの女は、人びとの中から許寧、芦嘉川、羅大方を捜していたが、だれもみつからなかった。ひとりの知人にも出会えないので、群衆の外に立っているよりほかなく、心は勇んでいたが、おちつかない。しだいに人の群れは数を増し、およそ二、三百人になったろうか。だが、かの女はやはりひとりぼっちで、人びとの背後に立っていた。とつぜん、あちこちから、勇ましい、かぶよいシュプレヒコールの音があがった。その声は、かの女をふるいたたせ、喜ばせた。
“校长，您别开玩笑。还是请您给我想办法。他叫江华，北大学生。最近因为婚姻问题——他父母强迫他和一个不认识的女人结婚，他不肯，和家里闹翻了，没法再求学，只好找事情维持生活。校长，您对人热心，定县城里熟人又多，一定请您替我帮忙！”	「校長先生、からかわないでください。なんとかお力を貸してもらいたいです。従兄は江華といって、北京大学の学生なんです。最近、結婚問題で——両親が見も知らない女性と、むりやり結婚させようとしたのを拒否したため、学校がつけられなくなってしまつて。それで、職を捜して、生活の道をたてなければならなくなって。校長先生、あなたは親切な方ですし、定県では顔が広いから、どうか力になってください」
///道静正坐在里间屋的炕上写东西，一见这个陌生的老太太进来了，她心里有些不舒服，因为她是偷偷藏在刘家的。但是客人既然进来了，她只好下地打招呼，让老太太炕上坐。	///ちょうどオンドルの上で、書きものをしていた道静は、この見知らぬ老婦人がはいつて来たのを見て、ちょっといやな気がした。こっそり劉家に身を隠している境遇だったからだ。だが、客がはいつてきた以上、床におりてあいさつし、老婦人をオンドルに招じあげようほかなかった。
她不知怎的，感觉很不舒服，只好顺口搭音地回答她：	どうしてか、道静は不快感に襲われて、ぶつきらぼうに答えた。
她们俩沉默了一会，道静看一下子走不脱，只好向白莉苹打听起许宁的情况来。	しばらく沈黙が支配した。すぐには帰れないと見てとった道静は、しかたなく許寧の情況を聞いてみた。
她没有再去敲门，只好坐在门槛上打起盹来，忽然，一个微弱的好像雨点落下来的声音，轻轻地传向了她的耳边：	こんどは門をたたこうとはせず、門のしきいに腰をおろして、ふたたび、うつらうつらしはじめた。ふと、雨だれのようなかすかな音が、かの女の耳に聞えてきた。
莉苹：你一定生了我的气。但是对不起，我受不了你给我安排的那个环境，只好逃走了。	莉苹、あなたはきつと、わたしのことを怒ってるでしょうね。申しわけないけど、あなたが用意してくれたあの環境は、わたしには、とても耐えられなかった、それで逃げだすよりほか、しかたなかったのです。
可是他那样子又不能到门房里去找，只好倒在徐辉宿舍门口的大树下，就这样遇到了徐辉。	だが、この身なりでは、受付を通すわけにはいかなないので、寮の門口の大きな横の下で、こうして徐輝をまちぶせたというわけだった。
“找到了，立刻告诉我！我走啦。”小俞又蹦蹦跳跳地跑走了。怕爸爸妈妈反对，她只好赶快离开她恋恋不舍的林姐姐。	「連絡ついたら、すぐわたしに知らせてね。じゃあ、わたし帰るわ」+++愈淑秀はそういうと、また、おどろような足どりで帰っていった。父母の反対を恐れ、しかたなく、うしろ髪をひかれる思いで、かの女の林ねえさんと、別れていかなければならなかったのだ。
“你找什么？水吗？对不起，我混得可穷透了，连火炉都生不起，每天只好买点饭吃，喝水就在女房东屋里找点。我就去找点水来，你等一等。”	「なに捜しているの？お茶？ごめんさいね、わたしひどく貧乏してるものだから、コンロの火も起こせないで、毎日、少しづつ外から買って来てたべるのよ。お茶がほしいのなら、大家のおばさんの所へいって、もらってくるわ。これからいって来るから、ちょっとまって」
<b>棋王 (原文)</b>	<b>チャンピオン (棋王) (訳文)</b>
///可他问个不停，‘钱？存折儿？结婚贴子？’我只好说是棋谱，正说着，就找着了。	『金か、貯金通帳か、結婚証明書か』+++と言うので、『棋譜だよ』と言ったとき、見つかった。
直到比赛开始，也没见王一生的影子。问了他们分场来的人，都说很久没见王一生。大家有些慌，又没办法，只好去看脚卵赛篮球。	いよいよ大会が始まったが、王一生はついに姿をあらわさなかった。彼の分場からきた者たちになすねでも、彼を久しく見かけていという事だった。みなはいささか不安になってきたが、どうしようもないので、のっぽのバスケットの試合を見に行った。
这使她很难回答。她做过上百例这种手术，还很少有人向她提过这样的问题，只好答道：	回答しにくいことばかりだった。今までにも随分と手術はしてきたが、こんなことを提起されたことは初めてだったので、仕方なくこう答えた。
陆文婷听着这些含泪的交谈，心里很苦。她不能制止他们。此时此刻，好像只有这种过去的笑话才能冲淡离愁。见傅家杰含笑看着自己，只好勉强笑道：	陸文■はこんな涙の出そうな夫の話を聞いていると、胸が痛くなってきた。しかし、彼らを阻止することはできない。こうした機会に、こんな過去の笑い話を持ち出して、憂さを晴らすことでもしなければしょうがないのだ。傅家傑が自嘲的な顔つきで自分の方を見ていることに気が付くと、笑いにまぎらわせてこういうより仕方がなかった。
为医疗器械的不合格，陆文婷和大夫们不知提过多少次意见。然而，这些不合格格的次品仍然经常出现在托盘里。没办法，陆文婷只好挑选使用。碰到好的刀、剪、针，她就请器械护士保存好，一用再用。	医療機器の不良品については、陸文■ら医師がどれほど意見を述べたか知れない。それでも相変わらずこんな不良品が出てくる。仕方がないので陸文■はその中から使用できるものを選び出す。よさそうな針やメスにゆきあたると看護婦にそう言って取っ取って使用することになっている。
孙逸民无法，只好拿着鸡蛋，直把这一老一小送下楼去。	孫主任は仕方なく卵をさげて、老人と子どもを階下まで送って行かざるを得なかった。
<b>人啊，人 (原文)</b>	<b>ああ、人間よ (訳文)</b>
“鞋子都破了，又没钱买，只好拿去补补。”他把鞋子朝我扬扬，瘦削清秀的脸上现出一丝笑容，似苦笑，又似嘲笑。	「靴がみんな破れちまってね、買う金がないから、直しに出すところさ」。彼は破れ靴を私のまえに上げて、やつれた二枚目の顔にかすかな笑いを浮かべた。苦笑のようでもあり、自嘲のようでもあった。
没办法，我只好一个一个地拜。	しかたなく、私はまたひとりひとりあいさつしていった。
<b>霜叶红似二月花 (原文)</b>	<b>霜葉紅似二月花 (訳文)</b>
///“昨夜三更才回来，醉得皂白不分；姑太太今早起又问过你呢，我倒不好意思不替你扯个谎，只好回说你一早有事又出去了；谁知道——人家一早晨的事都做完了，你还躺在床上。”	「ゆうべのお帰りは十二時すぎでしたわね。ひどくお酔いになって。叔母さまはけさもあなたのことをお尋ねでしたけど、まさかむたくしから本当のことを申しあげられるわけにもいきませんから、用事があって起きぬけに出掛けましたと申しあげておきましたわ。それにしても、もうみんな朝の用事を済ませているというのに、おひとりてよく寝ていられることですね」



中国語原文	日本語訳文
照例、这种背诵本县各大户发迹史的谈话一开始，只有瑞姑太太还勉强能作老太太的对手，恂如的母亲是外县人，少奶奶年轻，都不能赞一辞。恂如不大爱听这些近乎神话的陈年故事，但也只好耐心坐在那里。	こうした町の分限者たちの系図談義になって、なんとかお婆さまのお相手がつつまるとのは、いつも瑞叔母だけだった。恂如の母親はその土地から来た者であったし、妻の宝珠は若かったので、相槌の打ちようがなかった。恂如はこんな神話めいた昔話にはとんと興味があつたが、観念して坐っていた。
一瞧又惹起恂如奶奶的满肚子委屈来了，婉小姐便故意笑了笑：“嫂嫂，你说我里场外场一扒抓，可又有什么办法？和光成天伴着一盏灯，一枝枪，我要再不管，怎么得了？这叫跨上了马背，下不来，只好硬着头皮赶。”	また宝珠の愚痴が始まると、婉卿は笑ってごまかそうとした。+++「あたしが内外を一手に切りまわしているというけど、なにも好んでそうしている訳じゃないのよ。和光ときたら、朝から晩までアヘン？ランプのそばにつきっきりでしょう？あまたしまで一緒に遊んでいたら、うちは滅茶滅茶になってしまうじゃないの。こうなったら乗りがかった船、とことんまでやるより仕方ないのよ」
“他们年青的少爷班，总有点不大安分的地方；他们常在什么四宝那里打牌胡调，我也知道一点。恐怕这里头也有恂如的份。不过，嫂嫂，他这种逢场作戏，你也只好马虎些；你越顶真，他越愠气，那又何苦来呢！”	「若い男の人たちは、どうしても腰が落ちつかないものよ。あの人たちが、四宝とかいう女のところに入りびたって、麻雀だの何だのといって騒いでいることくらい、あたしだって知っているわ。恂如も出入りしていることと思うわ。でもねえ、そんな気まぐれに、いちいち真剣になる、こともないわよ。そんなことに、あなたが向きになればなるほど、恂如だって面白くなくなるはずで、まったくくだらないじゃないの」
///一句话没完，早看见小丫头阿毛慌慌张张跑来报道：“老爷，不好了，阿彩姊发了晕了！”同时，擂鼓似的声音，从楼板上蓬蓬而来，中间夹着个女人的刺耳的怒吼声：“她装死么？装死吓谁？”赵守义再也不能充耳不闻了，只好站起来苦笑着说一句：“诸公宽坐一会儿，兄弟去看看就来，”三步并作两步的也跑进去了。	といているところへ、女中の阿毛が慌てふためいて走りこんできた。+++「旦那さま、大変でございます。阿彩さんが氣絶してしまいました」+++同時に二階がどすんとずんと鳴り、女の金切り声がひびいた。+++「ふん、死ぬ真似なんかにして！そんなことであたしが驚くとも思うのかい！」+++趙守義は、これ以上知らん顔もできなくなって、苦笑しながら立ち上り、「皆さん、ごゆるりして聞いて下さい。ちょっと見てきますから」というなり、ばたばたと奥へ駆けこんだ。
民治看见自己来的不是时候，便想转身退出；可是父亲的眼光已经瞥到他身上，他只好重复站住，又慢慢的移步上前，正要启口，却听得梁子安说道：///	民治は、まずいとところに来あわせたとおもうて引き返しかけたが、父親にじろりと睨まれて思いとどまった。おそろおそろ進み出て用をきこうとした時、梁子安の声がした。
在梁子安的眼里，朱行健不过是一个发霉的背时的纨绔，喜欢出头说话，然而谁也不会觉得他的话有多少分量。照梁子安的意见，这么一个呆头呆脑不通时务的老头儿，根本就不理他。但是王伯申既有命令，梁子安只好虚应故事走一趟。	朱行健はかびの生えた、時代おくれの名士にすぎない。やたらに出しやばりたがるが、彼のこぼすまじめに聞く者などいない。梁子安はそう見ていた。また、そんな間の抜けた世間知らずの年寄など、相手にする必要はなからぬ。そう思っていた。しかし、王伯申の命令である、相手でも出さなければいけなかった。
梁子安满头大汗，无言可答，只有苦笑。他躁急地摇着扇子，肚子里寻思道：“真是见鬼，这一趟是白来了，反又惹起节外生枝。”但是朱行健的一对小眼睛逼住他，等他说话，没奈何，他只好讪讪地反问道：“那么，健老的意思打算怎样？我回去也好转达。”	梁子安は脂汗を浮かべて、答えることばもなく苦笑するだけだった。ばたばたと扇子を使いながら、腹のなかで、「まったくツイてないな、無駄足も無駄足、面倒なおまけまでついてしまった」と思っていた、それでも、朱行健の細い目は、彼の返事を求めて、執拗に迫ってくる。やむなく彼は、その場しのぎの質問を發した。+++「では、朱さんのご意見では、どうしたらいいとおっしゃるのですか。帰って社長に伝えておきますが」
朱行健惟恐错过时机，只好自己动手，搬弄着几个大瓮和玻璃酒瓶——这些东西是他的自制量雨计。	ぐずぐずしてはいられないので、自分でかめやガラス瓶——これがつまり彼の手製の雨量計なのである——を運び出しはじめた。
谁知今番忽然发大水，短工稍了，邻近几个村子都有需要，连累他只好出了重价。	このあたりの村々では雇い手はいくらでもある。それで、彼も高い日当を出さなければならなくなっていた。
良材看了又是生气又是可怜他们，只好半喝半劝道：“不要闹！好好儿说，你们到底打算怎样？一百块钱又是怎么回事呢？”	良材はこれを見ていて腹立たしくもあり、またふたりがかわいそうになつてもきたので、きつい口調でとめにはいった。+++「うるさいぞ。いったいどうしようというのだ。落着いて話してみろ。百元がどうのこうのと、どういうことなんだ」
<b>小鮑庄 (原文)</b>	<b>小鮑莊 (訳文)</b>
“甬唱了，没脸没皮的，唱什么！”说急了，还在她身上拍两下。渐渐的，小翠子便不唱了。嗓门也像暗了似的，哑哑的，连说话都懒得说了。她唱，她不唱，捞渣总和和气地对着她笑，笑得她也只好笑了。	///「歌うんじゃない。恥知らずが、歌なんか」腹立ちまぎれに、彼女を叩いた。やがて小翠子は歌を歌うのをやめた。喉までつぶれてしまったのか、話をするにも、おずおずと口ごもるようになった。しかし歌おうが歌うまいが、捞渣はいつも彼女ににこにこ笑いかけるので、彼女もついほほえむのだった。
他又恳切地叫了一声“大姐”，没有回应。无奈，只好罢了。他站在招待所门口，思付了一会儿，掉过身往县委走去。他有个中学里的老同学，在县委宣传部打字。	///もう一度「おばさん」と丁寧な声をかけてみたが、返事はなかった。しかたがない、お手あげた。招待所の入口でちょっと考えた末、県党委員会に足を向けた。中学時代の同級生がその宣伝部のタイピストをしていた。
“听惯了船公的号——”文化子唱得鼓起了喉咙，只好认输，“实在是吊不上去了。”	「聞きなれた船頭の合図——」文化子は喉のかぎり声を張りあげて歌ったが、降参するほかなかった。「もうどうしても声が續かない」
等了半个多月，也不见动静，又不好意思问上门去，只好作罢。	半月以上待っても、音沙汰はなかった。問い合わせに行くのも気がひけて、あきらめた。
<b>骆驼祥子 (原文)</b>	<b>駱駝祥子 (訳文)</b>
///他的样子是那么诚实，脸上是那么简单可爱，人们好象只好信任他，不敢想这个傻大个子是会骗人的。	///彼の誠実そうなようす、質朴愛すべき風貌に、客たちはこのポーッとしたノッポがあごきなまねをしようなどは考えもせず、頭から信用してしまわらしかつた。
曹先生不想再坐，可是听出祥子的话带着哭音，他只好上去了。	曹先生は乗る気はなかったが、祥子の泣きだしそうな声を聞いて、だまって乗りこんだ。
曹先生一声也不响，他只好继续往北跑。	曹先生がむつつり黙りこんでいるもので、しかたなく北へ北へ走りつづけた。
“不会往外打，会接。”其实祥子连接电话也不大喜欢，不过不愿教曹先生着急，只好这么答应下。	「かけ方は知りませんが、うけるだけはできます」+++じつは、電話をうけるのも大きらいだったが、曹先生に心配かけたくなかったので、しかたなしにそう言った。
七点多钟了，刘四爷有点发困，可是不服老，还不肯去睡。大家请他加入打几圈牌，他不肯说精神来不及，而说打牌不痛快，押宝或牌九才合他的口味。大家不愿中途改变，他只好在一旁坐着。为打起点精神，他还要再喝几盅，口口声声说自己没吃饱，而且抱怨厨子赚钱太多了，菜并不丰满。	七時すぎ、親方は眠くなってきたが、弱みを見せまいとして、がんばっていた。みんなから麻雀を誘われたが、疲れたからと断るのが癪なので、麻雀ではもの足りない、やるなら宝盆兒か牌九だと言った。みんなは麻雀に興がのつていたところだったので、親方も結局そばで見ていたよりしかたないことになった。元氣づけに酒を飲みはじめたが、こんどは、きょうは食いものが足りなかったとぶつぶつ言いはじめ、料理人がピンはねして品数をへらしたと罵りだした。
“好了，我走！”祥子没话可说，只好赶紧离开这里；无论如何，斗嘴他是斗不过他们的。	「いいとも、でてつてやる」+++祥子はなにも言えぬまま、一刻も早くここからたち去ろうと思った。口では逆立ちしたってかなわないことがわかっていたからである。
///他没法矫正过去的一切，那么只好顺着路儿往下走吧。	///過ぎてしまったことをやりなおすことができないうちは、目の前にある道を進んで行くしか手はないのだ。
没了钱，再赶上他喝了酒，犯了脾气，他一两天不管孩子们吃了什么。孩子们无法，只好自己去想主意弄几个铜子，买点东西吃。	///金がなくなればなくなったで、彼はまたやけになって酒をくらい、一日でも二日でも、息子たちをほっぽらかしにした。息子たちはしかたなく自分たちで小銭を稼いだりはなんとか食いつないだ。
///他们会给办红白事的去打执事，会去跟着土车拾些碎铜烂纸，有时候能买上几个烧饼，有时候只能买一斤麦茬白薯，连皮带须子都吞了下去，有时候俩人才有一个大铜子，只好买了落花生或铁蚕豆，虽然不能挡饥，可是能多嚼一会儿。	///自分たちで稼ぐといっても、婚礼や葬式の旗もち水、ゴミ車のあとをついてまわって屑鉄や紙屑をひろくくらいのもので、焼餅が買えればよし、さつま芋を一斤だけ買って、皮からひげまで食べてしまうということもあった。ふたり合わせて二銭銅貨一枚というひどいときもあって、そんなときは南京豆か煎ったそばを買った。腹の足しにはならなかったが、長いあいだかんでいることができたからだ。
///她说的也是真话。到过新年的时候，她的主意就更多了。她自己动不了窝，便派小福子一趟一趟的去买东西。她恨自己出不去，又疼爱自己而不肯出去，不出去又憋闷的慌，所以只好多买点东西来看看还舒服些。她口口声声不是为自己买而是心疼祥子：	それはそのとおりだった。正月が近づくと、彼女の注文はますます多くなった。自分は寝たっきりで、小福子を八方へ買物に走らせた。自分で出てゆきたくていらいらしていたが、からだのことを考えるとそういうわけにもいかず、出なければ出ないで退屈でたまらない。そこで、むやみやたらに物を買ってこさせては、眺めて楽しんでた。それでも、口では自分のために買っているのではなく、祥子のことを心から思っていることなのだとはいえた。

中国語原文	日本語訳文
<p>灯节左右，虎妞决定教祥子去请收生婆，她已支持不住。收生婆来到，告诉她还不到时候，并且说了些要临盆时的征象。她忍了两天，就又闹腾起来。把收生婆又请了来，还是不到时候。她哭着喊着要去寻死，不能再受这个折磨。祥子一点办法没有，为表明自己尽心，只好依了她的要求，暂不去拉车。</p>	<p>元宵節の前後になると、虎■は祥子にお産婆さんと呼びに行かせた。もうどうにも我慢できなくなったからだ。やってきたお産婆さんは、まだまだと言ひ、生まれるときはこうだからと説明して帰っていった。彼女は二日我慢して、また騒ぎだした。お産婆さんと呼んだが、やはりまだだと言う。彼女は、もうこんな苦しみはたくさんだ、死にたい死にたいと泣きわめいた。祥子はどうしようもなく、せめてもの心づくしに彼女の頼みをいれて仕事を休むことにした。</p>
<p>她去了有一点钟。跑回来，她已喘得说不上来话。扶着桌子，她干嗽了半天才说出来：医生来一趟是十块钱，只是看看，并不管接生。接生是二十块。要是难产的话，得到医院去，那就得几十块了。“祥哥！你看怎么办呢？！”祥子没办法，只好等着该死的就死吧！</p>	<p>///一時間ほどして、彼女は息を切らせて駆けもどってきた。テーブルに両手をつけて、しばらくコンコン咳をしてからやっと言った。医者は一回くるだけで十円、それも診察するだけで、赤ん坊をとりあげるには二十円、難産なら入院しなければならず、何十円もかかるそうだと。+++「どうする？祥子さん」+++祥子にはどうすることもできなかった。死んでゆく者が死んでゆくのをだまってい送るよりほかどうしようもなかった。</p>
<p style="text-align: center;"><b>钟鼓楼 (原文)</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>鐘鼓楼 (訳文)</b></p>
<p>薛师傅遂说：“我从马凯餐厅那儿一路找到地安门，今儿个都没啤酒，我只好在地安门商场买了十瓶‘麦精露’……”</p>	<p>「それでな、馬凱料理店から地安門までずっとさがして歩いたんだよ。今日はどこにもビールがないんだ。しかたがないから、地安門デパートで『麦精露』を十瓶ほど買って来た」</p>
<p>///她这人总是想到什么就干什么，车子开到一处地方，她招呼司机说：“师傅师傅，边上停停，我得办件急事！”司机以为她要下车方便，只好朝边上靠去，七姑大吃一惊：“这是怎么个噎儿？不能停！不能停！”</p>	<p>詹麗穎はなにか思いつくと、矢も楯もたまらなくなるたちである。車が、とあるところまで来ると、運転手に声をかけた。+++「運転手さん。ちょっと、停めてもらえないかしら。急用できたの」+++運転手は彼女がトイレに行くのかと思って、しかたなく道路わきのほうへ寄った。驚いたのは七叔母である。+++「それ、どういふことですか。ため。停めちゃいけません」</p>